

講座報告書 令和7年度 富士見市民大学 環境講座 VOL. 1 自然環境編  
プラタモリならぬ「プラふじみ」しながら富士見の自然を学びます

5回連続講座の第5回目座学講座

日時 令和8年1月17日(土) 9:30~11:45

場所 鶴瀬公民館いきいき活動室

参加者 10人



●埼玉県の地下水と湧水～身近な水源を知っていますか？～

講師 埼玉県環境科学国際センター 博士 石山 高氏

1. 水の源 “地下水”とその特徴

埼玉県の地形や地層の地質構造について

2. 湧水の種類

崖線型、谷頭型の説明、富士見市は崖線型が多い

3. 富士見の湧水

令和3年度調査では29カ所、七沢八寺の説明、湧き水は神が宿る神聖な場所→湧き水付近に寺社が多いこと

4. 湧水と地下水の利活用

地下水の熱（温熱・冷熱）を災害時に利用、次世代型避難所は、地中熱を冷暖房の補助熱として、また、汲み上げた地下水は、食器洗浄やトイレ洗浄水として利用する



●富士見の自然環境を守っていくには、まとめ

講師 埼玉県環境アドバイザー 千種 秀信氏

1. 湧き水や緑地を保全する

借地契約による「市民緑地」「緑の散歩道」制度で保全

県・市条例による「保存樹林」指定で保全

緑地基金による買取りで保全

2. 生物多様性を保全する（ネチャーポジティブを実現する）

絶滅危惧種の生きものを象徴種として、生息地を行政と市民が一体となって保全・管理していく体制を作り、自然豊かな富士見市を将来に引き継ぐ

3. 身近な自然を守るために、私たちに出来ること

知人に富士見市の自然を伝える、自然保護団体への会員加入や寄付、里山ボランティア等の実際の活動など

●次年度環境講座案のご案内

次ページ参照

《受講者の声》

- 富士見市の湧き水は神聖なる場所として、東松山市の湧き水は、生活用水としての実利用など、地域での使い方の違いは面白かった。
- 地層地質の説明は良かった。関東ローム層のすごさがわかった。
- 草加煎餅の発祥と地形や土壤の関りの話は面白かった。
- まだまだ知らないことが多い、これから自分にできることを見つけてみたいと思います。
- 次年度の計画も良かった。

## (案) 令和8年度 富士見市民大学 環境講座 VOL.2 地球環境編 募集定員 30人

### 地球の未来はどうなるのでしょうか？社会は、私たちは、どう対応すればいいのでしょうか？

地球温暖化・大気や海洋汚染・森林や生態系破壊など、地球環境は様々な問題に直面しています。本年度は、埼玉環境カウンセラー協会様とのコラボ講座や再資源化施設の見学や講演を通して考察を深めます。Think globally, Act locally 「地球規模で考え方元から行動しましょう」

月日	時間	場所	内容	講師
10/3 (土)	13:30 ～ 15:30	鶴瀬コ ミュニ ティセ ンター ホール	座学講座①（公開講演会と兼ねます） 「環境問題と生活の関わり～公害から地球温暖化問題～」 産業型公害から地球温暖化問題への変遷を生活との関わりから理解し、私たちは何をすべきか、何ができるのかを考えます。	NPO法人埼玉環 境カウンセラー協 会副会長、富士見 市環境審議会会长 星野弘志氏
10/17 (土)	9:30 ～ 11:30	鶴瀬公 民館（2 階第3 集会室）	座学講座② 「環境の視点から見たSDGsについて」 持続可能な社会・経済の発展・維持のためには、基盤である環境が重要であることを理解し、社会や私たちの対策や行動を考えます。	NPO法人埼玉環 境カウンセラー協 会理事、さいたま 市環境会議会長 秋元智子氏
11/6 (金)	現地 集合 9:45 現地 11:40 解散	和光市 「新河 岸川水 循環セ ンター」	野外講座（施設見学） 富士見市の下水を処理している下水処理場、下水処理の過程で発生する汚泥などを、焼却灰の有効利用、バイオガス発電、炭化技術による燃料化など、あらゆる段階で100%再資源化を目指しています。 《スケジュール》 概要→下水道の仕組み・再資源化解説→施設見学 《アクセス》 朝霞台駅から市内循環バス、若しくは、自家用車	施設内担当者
日付 未定	9:30 ～ 12:00	鶴瀬公 民館（2 階第3 集会室）	座学講座③ 「環境問題に対して、富士見市の取り組み、企業の取り組み、市民の取り組み、私たちが出来ること」 1. 富士見市の環境施策と具体的な取り組みについて 2. 富士見市の食品廃棄物から再生エネルギーを創出し、持続可能な循環型社会を目指す企業の取組 3. 私たちが出来ること、市との意見交換など	富士見市経済環境 部環境課職員  ニューエナジーふ じみ野株式会社 ○○○○氏